

第6章 計画の推進体制・評価体制

1. 計画の推進体制

本計画は、基本理念「市民自ら健康づくりに取り組み、生涯にわたり健やかに暮らせる^{まち}都市・たかつき」を実現するために、市民や地域、保健医療専門家、医療保険者、教育関係機関、ボランティア・NPO、マスメディア、企業、行政などの多様な主体が協働して健康づくり・食育を推進するものです。

また、前計画に引き続き、地区別の取組を推進しており、地域においてコミュニティや民生委員・児童委員、福祉委員、健康づくり推進リーダー、教育関係機関などが相互に連携しながら取り組みます。

そのために、健康課題や目指す姿、目標、取組を共有し、それぞれが同じ方向に向かって、健康づくり・食育に関する取組を行っていくことができるよう、積極的に情報提供及び情報交換を行っていきます。あわせて、本計画における新たな基本視点(8ページ参照)の一つである、健康への関心を高め、自分の健康状態に応じた正しい情報を見極め、最善の健康行動を選択することができるよう市民の「ヘルスリテラシー」の向上を図っていきます。

(1) 関係団体組織

健康増進計画と食育推進計画が完全統合されることに伴い、健康都市宣言を契機に発足した「高槻市健康づくり推進協議会」と、健康増進計画に基づく「健康たかつき21推進ネットワーク会議」、食育推進計画に基づく「高槻市食楽ネットワーク会議」の各組織に参加する市民団体、事業者等が、さらに統一的な目的を持って連携、活動できるよう、新たな組織として「健康たかつき21ネットワーク」を設置し、本計画を一層推進できる組織体系に整理を図ります。

【前計画における関係団体の役割】

①高槻市健康づくり推進協議会

市民自らが日常生活の中で、ともに手を携えて健康の保持・増進に心がけ、地域に密着した総合的な健康づくりを推進していくことが重要であるという考えのもと、学識経験者、医療関係者、関係行政機関、市民団体からなる22団体で構成されています。

市の保健事業・各種情報を掲載した健康だよりの作成・配布、「市民の健康・食育フェ



ア」や健康づくり事業などの取組を展開しました。

②健康たかつき21推進ネットワーク会議

健康づくりを実践する主体である地域、職域、保健医療専門家、教育関係機関、ボランティア・NPO、マスメディア、企業、行政など51団体で組織されており、連携・協働して健康づくりに取り組みました。

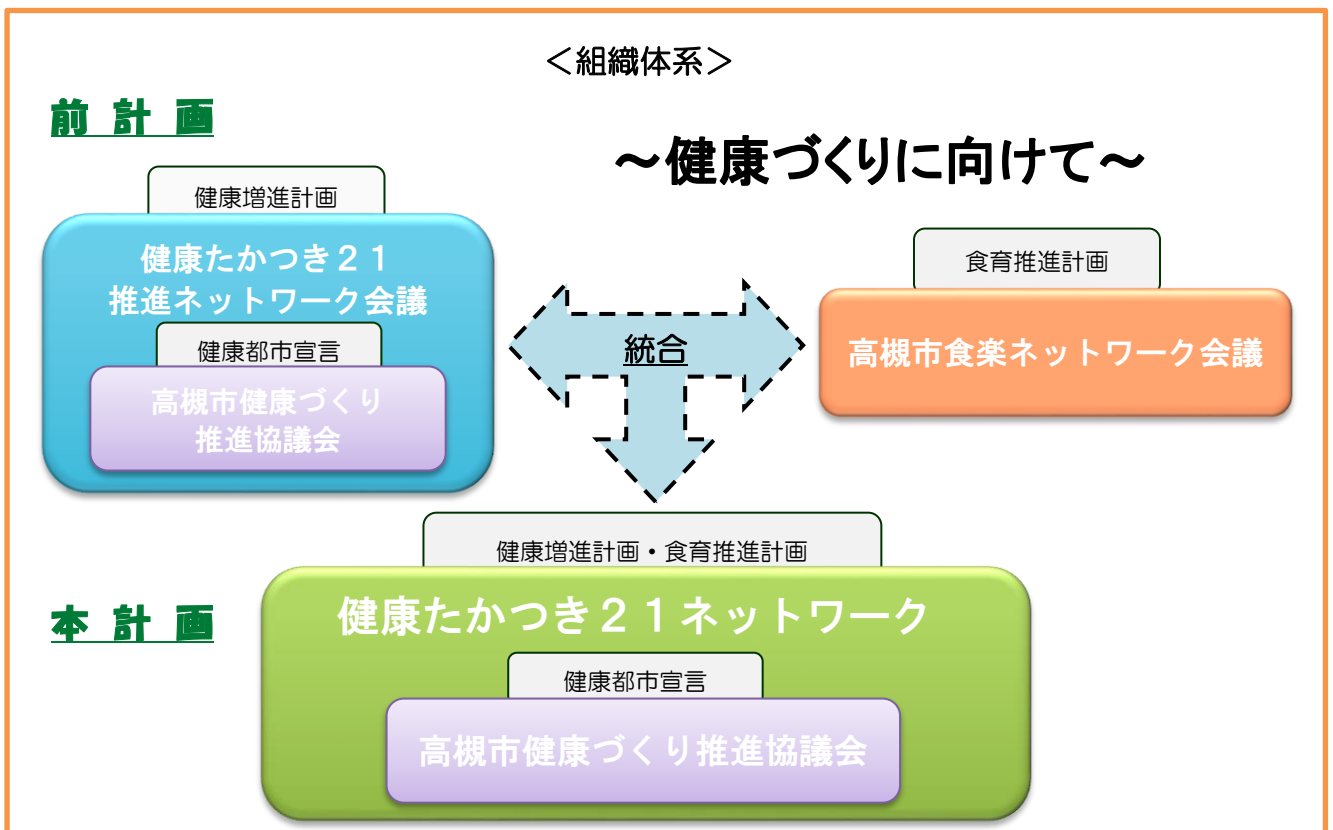
③高槻市食楽ネットワーク会議

食育に関心を持ち、食育を実践する主体や食育推進の考えに賛同する、学校、地域団体、企業等の37団体（オブザーバー含む）の連携を通じて、市民が健康で豊かな生活を送ることができるよう、市域全体で食育に関する取組を展開しました。

【本計画における関係団体の役割】

①健康たかつき21ネットワーク（新設）

本計画では、健康増進計画と食育推進計画が完全統合されることから、健康づくりと食育をより効果的に推進するために、「健康たかつき21推進ネットワーク会議」と「高槻市食楽ネットワーク会議」の団体を統合し、73団体（オブザーバー含む）で組織した「健康たかつき21ネットワーク」として、健康づくり・食育に向けた取組を推進していきます。





構成団体の特性を活かしながら連携して、市民への働きかけや情報提供を行うとともに、それぞれの団体内での独自の健康づくり・食育推進活動を実践していきます。

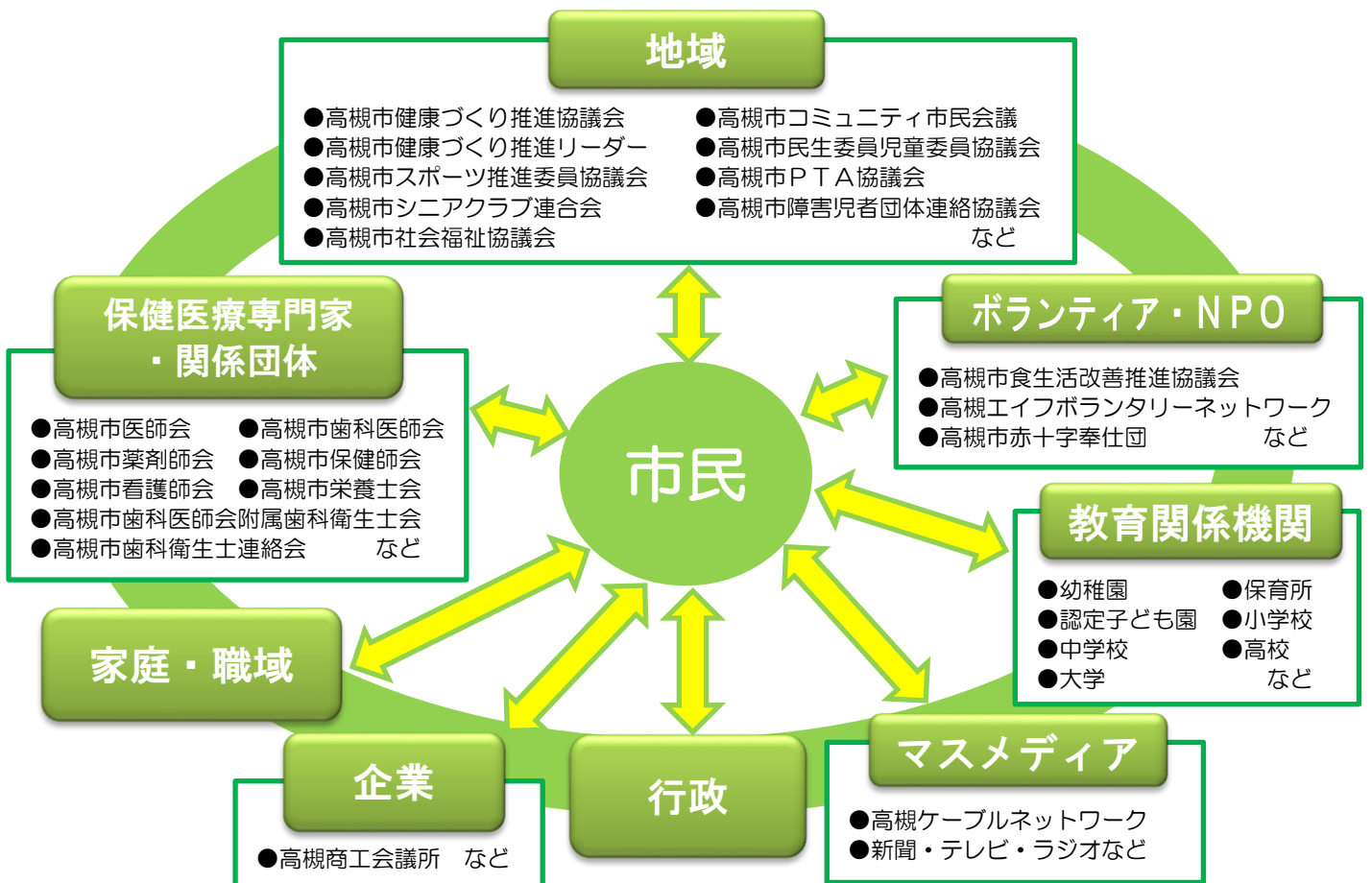
また、健康たかつき21シンポジウムの開催などを通じて、市民の健康意識の向上を目指すとともに、機関紙であるネットワーク通信などを通じて、適宜、構成団体と情報共有を図っていきます。

②高槻市健康づくり推進協議会

「健康たかつき21推進ネットワーク会議」の一会員であったことに伴い、新たに設置される「健康たかつき21ネットワーク」の一会員として、イベント等の実行組織の中核的役割として位置づけるとともに、引き続きこれまでの取組を推進していきます。

(2) 行政

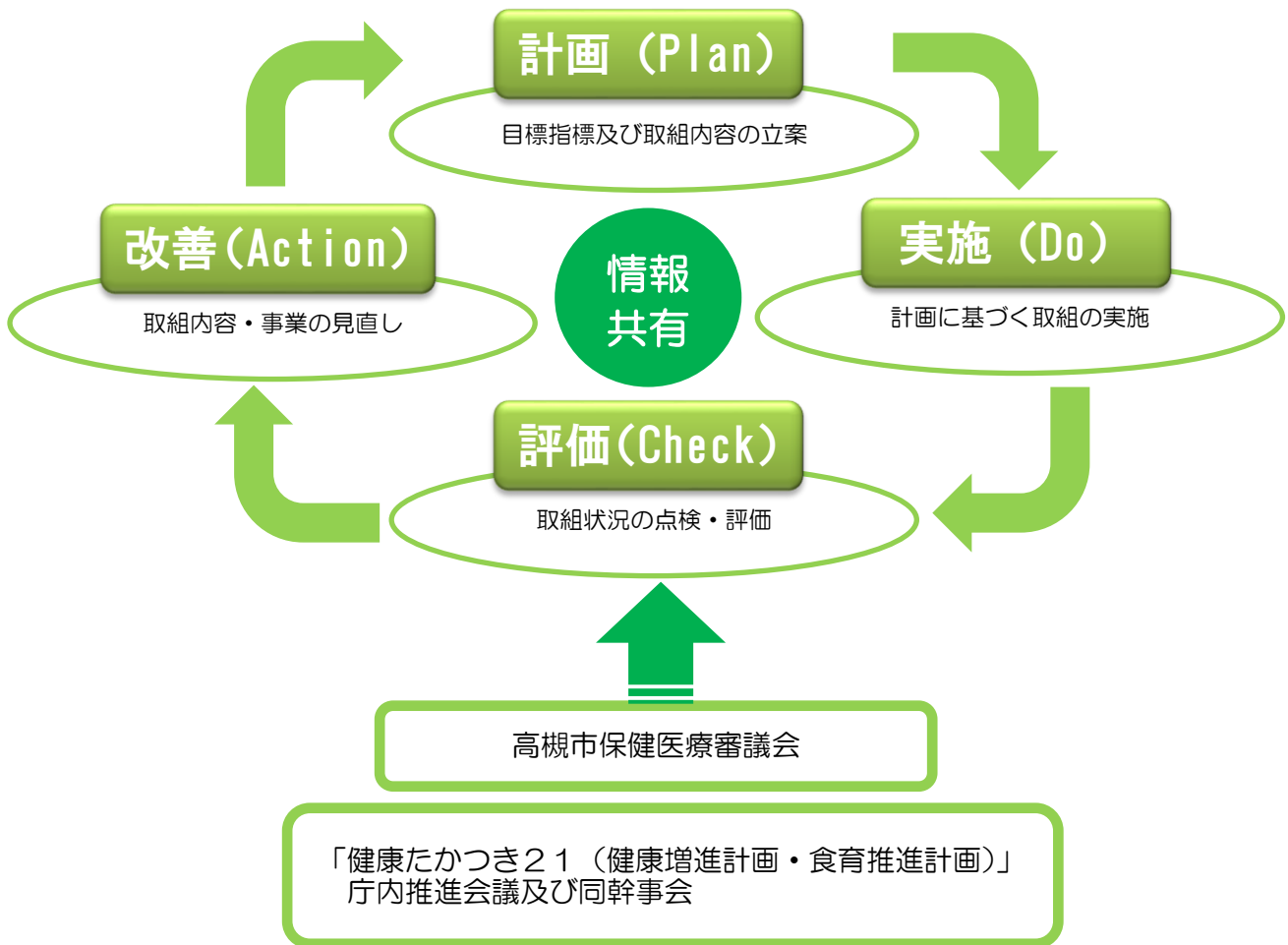
行政各分野の参画による全庁的な推進体制として、「健康たかつき21（健康増進計画・食育推進計画）」市内推進会議及び同幹事会を開催し、市内関係部署と情報共有しながら効果的・効率的に取組を進めます。さらに、市民、学識経験者、保健・医療関係者、関係団体、議会、教育関係者などで構成される「高槻市保健医療審議会」において、専門的な知見・見解等を踏まえながら推進していきます。



2. 進行管理と評価

本計画の目標達成に向け、効率的・効果的に施策・事業を推進していくために、目標項目と目標値及び具体的な取組内容を立案し（Plan）、次に、それぞれが連携・協働しながら事業を実施し（Do）、取組状況を共有し、実施した事業を点検・評価し（Check）、最後に、評価結果を踏まえて、改善策を検討していく（Action）、PDCAマネジメントサイクルを実施します。

そのため、関係団体・企業などによる取組、庁内関連部署が行う主な事業をそれぞれ年度ごとに把握し、市民、学識経験者、保健・医療関係者、関係団体、議会、教育関係者等で構成される「高槻市保健医療審議会」や「健康たかつき21（健康増進計画・食育推進計画）」庁内推進会議及び同幹事会において、関係団体や企業、学校、市民、学識経験者、保健・医療関係者、庁内関係部署などと、取組成果や課題について検討する中で、次の事業展開に生かしていきます。また、把握した取組状況は、市ホームページにおいて公開し、共有することで取組の推進を図ります。



3. 第3次・健康たかつき21の目標項目一覧

本計画の進行管理と評価を行う指標となる目標項目を一覧として掲載します。

なお、市民を対象としたアンケート調査などにより、目標項目の達成状況、市民の生活習慣や健康状態を把握することで、次期計画の策定に反映させていきます。

(「※1～7」及び「出1～7」の数値の注釈については、129ページに一括して掲載しています)

<ライフステージ別>

全体目標

No.	目標項目		現状値 (平成28年度 /2016年度)	目標値 (平成35年度 /2023年度)	
1	健康寿命の延伸	男性	健康寿命	80.25 ^{※1}	平均寿命の 増加分を 上回る健康 寿命の増加
			平均寿命	81.46 ^{※1}	
		女性	健康寿命	84.93 ^{※1}	
			平均寿命	87.92 ^{※1}	

重点目標

No.	目標項目		現状値 (平成28年度 /2016年度)	目標値 (平成35年度 /2023年度)	
1	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)		77.2 ^{※2}	62.0	
2	がん	がん検診受診率の向上 (高槻市がん検診より) ※成人(40～69歳)	胃がん	男性 4.7% ^{出1}	7.1%
			女性 7.4% ^{出1}	11.1%	
		子宮頸がん(20～69歳)	22.5% ^{出1}	24.8%	
		乳がん	17.2% ^{出1}	18.9%	
		肺がん	男性 9.5% ^{出1}	10.5%	
			女性 16.1% ^{出1}	17.7%	
大腸がん	男性 6.5% ^{出1}	7.2%			
	女性 12.6% ^{出1}	13.9%			

第6章 計画の推進体制・評価体制



No.	目標項目		現状値 (平成28年度 /2016年度)	目標値 (平成35年度 /2023年度)	
3	がん	胃がん	30.8%	50.0%	
		子宮頸がん(20~69歳)	32.5%	50.0%	
		乳がん	38.6%	50.0%	
		肺がん	26.6%	50.0%	
		大腸がん	33.2%	50.0%	
4	脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	脳血管疾患	男性	24.7 ^{※2}	22.1
			女性	13.2 ^{※2}	12.5
		虚血性心疾患	男性	21.9 ^{※2}	19.9
			女性	6.0 ^{※2}	5.6
5	循環器疾患	高槻市国民健康保険特定健康診査受診率の向上	成人	41.4% ^{出2}	60.0%
6		高槻市国民健康保険特定保健指導実施率の向上	成人	27.6% ^{出2}	60.0%
7		高血圧有病者の減少	成人	30.6% ^{※3}	23.0%
8		脂質異常症有病者の減少	成人	13.4% ^{※4}	10.1%
9		メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	成人	26.1% ^{出2}	19.6%
10		年に1回健康診査や人間ドックを受けている人の割合の増加(「アンケート調査」より)	成人	75.6%	82.3%
11	糖尿病	糖尿病有病者の減少	男性	6.4% ^{※5}	6.0%
			女性	4.9% ^{※5}	4.0%
		12	糖尿病治療継続者の増加	成人	55.2% ^{※6}
13	血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少	成人	0.8% ^{※7}	0.7%	



分野別目標

(1) 栄養・食生活・食育

No.	目標項目		現状値 (平成28年度 /2016年度)	目標値 (平成35年度 /2023年度)	
1	朝食を欠食する人の割合の減少	小学5年生	12.4%	0.0%	
		中学2年生	15.7%	0.0%	
		20～39歳	24.9%	15.0%	
		20歳代	男性	29.4%	15.0%
			女性	31.4%	15.0%
		30歳代	男性	26.8%	15.0%
女性	19.3%		15.0%		
2	適正体重を維持している人の割合の増加	小学5年生 の肥満児	6.9%	5.5%	
		中学2年生 の肥満児	3.0%	2.4%	
		20歳代女性 のやせ	15.7%	9.9%	
		20～60歳代 男性の肥満	26.2%	15.0%	
		壮年期男性 の肥満	29.2%	23.4%	
		40～60歳代 女性の肥満	12.0%	10.9%	
3	メタボリックシンドロームの予防や改善 のための適切な食事、運動等を継続的に 実践している人の割合の増加	成人	37.1%	50.0%	

第6章 計画の推進体制・評価体制



No.	目標項目		現状値 (平成28年度 /2016年度)	目標値 (平成35年度 /2023年度)	
4	栄養バランス等に配慮した食生活を送っている人の割合の増加	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べる	成人	42.8%	70.0%
			20～39歳	30.2%	55.0%
		塩分を控える	成人	55.7%	70.0%
		野菜をしっかり食べる	成人	27.1%	50.0%
		間食・夜食を控える	成人	37.1%	60.0%
5	外食や食品を購入するときに栄養成分表示を参考にする人の割合の増加	20～69歳	男性	24.5%	32.1%
			女性	41.9%	46.6%
6	食生活の課題の改善や適切な食生活の維持に意欲のある人の割合の増加	男性	90.8%	93.0%	
		女性	91.0%	93.0%	
7	食品の安全性の基礎知識を有する人の割合の増加	成人	60.1%	70.0%	
8	食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する20歳代・30歳代の割合の増加	20～39歳	69.4%	70.0%	
9	食育に関心を持っている人の割合の増加	成人	95.5%	97.0%	
10	朝食を家族と一緒に食べる人の割合の増加	成人	65.4%	70.0%	
		小学5年生	80.0%	82.0%	
		中学2年生	63.6%	82.0%	
11	夕食を家族と一緒に食べる人の割合の増加	成人	82.5%	85.0%	
		小学5年生	96.7%	98.0%	
		中学2年生	96.6%	98.0%	





No.	目標項目		現状値 (平成28年度 /2016年度)	目標値 (平成35年度 /2023年度)	
12	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」 の回数の増加	成人	8.4回 ^{※8}	11.0回	
		小学5年生	10.7回 ^{※8}	11.0回	
		中学2年生	8.9回 ^{※8}	11.0回	
13	よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に 関心のある人の割合の増加		成人	62.8%	80.0%

(2) 身体活動・運動

No.	目標項目		現状値 (平成28年度 /2016年度)	目標値 (平成35年度 /2023年度)	
1	日常生活における歩数の増加	20～64歳	男性	5,186歩 ^{※9}	9,000歩
			女性	4,301歩 ^{※9}	8,500歩
		65歳以上	男性	4,767歩 ^{※9}	7,000歩
			女性	3,991歩 ^{※9}	6,000歩
2	日常生活の中で意識的に体を動かす ことを心がける人の割合の増加	男性	72.6%	80.0%	
		女性	68.2%	75.0%	
3	運動習慣者(1回30分以上の軽く汗を かく運動を週2日以上、1年以上実施 している人)の割合の増加	成人		31.7%	42.6%
		男性		37.1%	49.2%
		女性		27.4%	37.0%
		20～64歳	男性	26.5%	36.0%
			女性	17.3%	33.0%
		65歳以上	男性	48.0%	58.0%
女性	39.9%		48.0%		



第6章 計画の推進体制・評価体制

No.	目標項目		現状値 (平成28年度 /2016年度)	目標値 (平成35年度 /2023年度)	
4	運動やスポーツを習慣的にしている 子どもの割合の増加	小学5年生	男子	67.8%	75.0%
			女子	51.4%	60.0%
5	外出について積極的な態度を持つ人 の割合の増加	60歳以上	男性	59.1%	70.0%
			女性	61.8%	70.0%
		80歳以上			42.5%
6	ロコモティブシンドローム(運動器症 候群)の認知度の向上	成人		40.3%	70.0%
再掲	メタボリックシンドロームの予防や 改善のための適切な食事、運動等を継 続的に実践している人の割合の増加	成人		37.1%	50.0%

(3) 休養・こころの健康づくり

No.	目標項目		現状値 (平成28年度 /2016年度)	目標値 (平成35年度 /2023年度)	
1	睡眠による休養を十分にとれていな い人の割合の減少	成人		24.4%	21.0%
		20~39歳		29.9%	21.2%
2	気分障害・不安障害に相当する心理的 苦痛を感じている人の割合の減少	成人		K6得点10点以上 11.4%	K6得点10点以上 9.4%



(4) 歯・口腔の健康

No.	目標項目		現状値 (平成28年度 /2016年度)	目標値 (平成35年度 /2023年度)
1	むし歯のある幼児の割合の減少	1歳6か月児	1.2% ^{出3}	1.0%
		3歳6か月児	18.2% ^{出4}	14.3%
2	間食としての甘味食品飲料を頻回飲食する習慣のある幼児の割合の減少	1歳6か月児	7.4% ^{出3}	5.1%
3	一人平均むし歯数の減少	11歳	0.58歯 ^{出5}	0.37歯
4	20歳代における歯肉に炎症所見を有する人の割合の減少	20～29歳	30.6%	25.0%
5	40歳代及び60歳代における進行した歯周炎を有する人の割合の減少	40～49歳	39.8%	25.0%
		60～69歳	69.5%	45.0%
6	口腔機能の維持・向上 (60歳代における咀嚼良好者の割合の増加)	60～69歳	69.0%	80.0%
7	40歳代及び60歳代における歯間清掃用具の使用の増加	40～49歳	61.1%	65.0%
		60～69歳	62.9%	65.0%
8	40歳(35～44歳)で喪失歯のない人の割合の増加	40歳 (35～44歳)	81.2%	85.0%
9	80歳(75～84歳)で20歯以上自分の歯を有する人の割合の増加	80歳 (75～84歳)	49.5%	55.0%
10	60歳(55～64歳)で24歯以上自分の歯を有する人の割合の増加	60歳 (55～64歳)	48.7%	50.0%
11	20歳代以上における定期的な歯石除去や歯面清掃を受ける人の割合の増加	成人	59.2%	65.0%
12	20歳代以上における定期的な歯科健康診査の受診者の割合の増加	成人	63.1%	65.0%



(5) たばこ（喫煙）

No.	目標項目		現状値 (平成28年度 /2016年度)	目標値 (平成35年度 /2023年度)		
1	COPDの認知度の向上		成人	79.4%	82.0%	
2	喫煙率の減少		男性	17.5%	11.3%	
			40～64歳男性	19.6%	11.1%	
			女性	5.7%	4.1%	
3	未成年者の喫煙（喫煙経験）をなくす		小学 5年生	男子	1.2%	0.0%
				女子	1.3%	0.0%
			中学 2年生	男子	2.4%	0.0%
				女子	0.9%	0.0%
4	妊娠中の喫煙をなくす		女性	3.5% ^{出6}	0.0%	
5	喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及	COPD	成人	64.0%	81.0%	
		心臓病		70.5%	80.3%	
		脳血管疾患		73.3%	79.2%	
		妊娠に関連した異常		82.2%	85.0%	
		歯周病		45.7%	60.0%	
6	受動喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及	心臓病	成人	63.2%	75.2%	
		乳幼児の突然死		39.2%	50.0%	
		妊娠に関連した異常		77.1%	81.0%	
7	受動喫煙（家庭・職場・飲食店・行政機関・医療機関）の機会を有する人の割合の減少	行政機関	成人	1.3%	0.0%	
		医療機関		0.9%	0.0%	
		職場		11.9%	受動喫煙の無い職場の実現	
		家庭		9.8%	3.0%	
		飲食店		33.4%	15.0%	



(6) アルコール（飲酒）

No.	目標項目		現状値 (平成28年度 /2016年度)	目標値 (平成35年度 /2023年度)	
1	多量に飲酒する人の割合の減少	男性	4.3%	3.2%	
		女性	0.9%	0.2%	
2	未成年者の飲酒（飲酒経験）をなくす	小学 5年生	男子	20.4%	0.0%
			女子	16.4%	0.0%
		中学 2年生	男子	18.9%	0.0%
			女子	16.5%	0.0%
3	妊娠中の飲酒をなくす	女性	1.8% ^{出6}	0.0%	
4	「適度な飲酒(1日1合程度)」の知識の普及	男性		55.7%	70.0%
		女性		49.3%	70.0%
		20～ 39歳	男性	37.9%	60.0%
			女性	33.9%	60.0%

(7) 健康づくりを支える社会環境

No.	目標項目		現状値 (平成28年度 /2016年度)	目標値 (平成35年度 /2023年度)	
1	高齢者の社会参加の促進 (就業又は何らかの地域活動をしている 高齢者の割合の増加)	60歳 以上	男性	36.7%	60.0%
			女性	41.0%	60.0%
2	健康づくり・食育の推進を目的とした活動 に主体的に関わっている人の割合の増加	成人		9.7%	25.0%
3	「うちのお店も健康づくり応援団の店」 協力店数の増加	協力店		276店 ^{出7}	330店
4	「第3次・健康たかつき21」を知って いる人の割合の増加	男性		40.7%	65.0%
		女性		44.7%	65.0%



<地域別>

地区	No.	目標項目		現状値 (平成28年度 /2016年度)	目標値 (平成35年度 /2023年度)
北東地区	1	よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心のある人の割合の増加	小学5年生	61.9%	70.0%
			中学2年生	43.1%	50.0%
			成人	65.8%	80.0%
	2	ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知度の向上	成人	43.2%	70.0%
北西地区	1	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日に2回以上ほぼ毎日食べる人の割合の増加	成人	43.6%	70.0%
	2	塩分を多く含む食品を控えている人の割合の増加	成人	54.7%	70.0%
	3	運動やスポーツをほとんどしない子どもの割合の減少	小学5年生	6.2%	5.5%
			中学2年生	16.5%	15.0%
4	地区活動などへ参加している人の割合の増加	成人	48.6%	55.0%	
南東地区	1	運動習慣者の増加	成人	27.1%	36.4%
	2	1回も歯をみがかない日がある子どもの割合の減少	小学5年生	3.6%	1.2%
			中学2年生	2.4%	1.1%
	3	定期的な歯科健康診査の受診者の割合の増加	成人	61.4%	65.0%
	4	60歳（55～64歳）で24歯以上自分の歯を有する人の割合の増加	60歳 （55～64歳）	40.7%	50.0%
5	80歳（75～84歳）で20歯以上自分の歯を有する人の割合の増加	80歳 （75～84歳）	42.0%	55.0%	





地区	No.	目標項目		現状値 (平成28年度 /2016年度)	目標値 (平成35年度 /2023年度)
南西地区	1	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日に2回以上ほぼ毎日食べる人の割合の増加	成人	42.1%	70.0%
	2	野菜をほとんど毎食食べる人の割合の増加	小学5年生	36.5%	50.0%
			中学2年生	42.4%	50.0%
			成人	25.8%	50.0%
	3	間食をほとんど毎日食べる人の割合の減少	成人	23.2%	20.0%
	4	日常生活の中で意識的に体を動かすことを心がける人の割合の増加	成人	70.0%	80.0%
	5	運動習慣者の増加	成人	30.5%	35.0%
6	日常的に外出をあまりしない人の割合の減少	成人	15.4%	14.0%	

- ※1 平成27年値。大阪府健康づくり課提供
- ※2 平成27年値
- ※3 平成27年度特定健診実績より、国が提示する基準に合わせて、収縮期血圧140mmHg以上又は拡張期血圧90mmHg以上の人の割合を算定
- ※4 平成27年度特定健診実績より、国が提示する基準に合わせて、LDLコレステロール160mg/dl以上の人の割合を算定
- ※5 平成27年度特定健診実績より、国が提示する基準に合わせて、糖尿病治療中又はHbA1c (NGSP) 6.5%以上の人の割合を算定
- ※6 平成27年度特定健診実績より、HbA1c (NGSP) 6.5%以上のうち、治療中と回答した人の割合を算定
- ※7 平成27年度特定健診実績より、HbA1c (NGSP) 8.4%以上の人の割合を算定
- ※8 1週間当たりの回数を表しており、全て「共食」した場合は14回
- ※9 アンケートの選択肢の中間値を歩数に換算
- 出1 平成28年度 健康づくり推進課実績
- 出2 平成27年度 健康づくり推進課実績
- 出3 平成27年度 高槻市1歳6か月児健康診査
- 出4 平成27年度 高槻市3歳6か月児健康診査
- 出5 平成27年 大阪府学校歯科医師会調査
- 出6 平成28年度 子ども保健課調査（健やか親子21アンケート）
- 出7 平成27年度 健康医療政策課実績

